

動物科学研究連絡委員会・植物科学研究連絡委員会報告

自然史系・生物系博物館における
教育・研究の高度化について

平成15年6月24日

日本学術会議
動物科学研究連絡委員会・植物科学研究連絡委員会

この報告は、第18期日本学術会議動物科学研究連絡委員会と植物科学研究連絡委員会の審議結果を取りまとめ発表するものである。

日本学術会議動物科学研究連絡委員会（第18期）委員

委員長	星 元紀	日本学術会議第4部会員、慶應義塾大学理工学部教授
委員（幹事）	遠藤秀紀	国立科学博物館動物研究部研究官
委員（幹事）	沼田 治	筑波大学生物科学系助教授
委員（幹事）	長谷川眞理子	早稲田大学政治経済学部教授
委員	漆原秀子	筑波大学生物科学系助教授
委員	大島範子	東邦大学理学部教授
委員	片倉晴雄	北海道大学大学院理学研究科教授
委員	白山義久	京都大学大学院理学研究科教授
委員	菅原美子	帝京大学医学部講師
委員	高木 尚	東北大学大学院生命科学研究科教授
委員	高木由臣	奈良女子大学理学部教授
委員	塚越 哲	静岡大学理学部助教授
委員	松田良一	東京大学大学院総合文化研究科助教授
委員	道端 齋	広島大学大学院理学研究科教授
委員	馬渡駿介	北海道大学大学院理学研究科教授
委員	毛利孝之	九州大学大学院農学研究科教授
委員	和田 勝	東京医科歯科大学教養部教授

日本学術会議植物科学研究連絡委員会（第18期）委員

委員長	岩槻邦男	日本学術会議第4部会員、放送大学教授
委員（幹事）	河野重行	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
委員（幹事）	前島正義	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
委員（幹事）	邑田 仁	東京大学大学院理学系研究科附属植物園教授
委員	大隅正子	日本女子大学理学部教授
委員	大隅良典	岡崎国立共同利用研究機構基礎生物学研究所教授
委員	大森正之	東京大学大学院総合文化研究科教授
委員	黒岩常祥	東京大学大学院理学系研究科教授
委員	佐藤文彦	京都大学大学院生命科学研究科教授
委員	出口博則	広島大学大学院理学研究科教授
委員	内藤 哲	北海道大学大学院農学研究科教授
委員	西村幹夫	岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所教授
委員	野口哲子	奈良女子大学理学部教授
委員	廣瀬忠樹	東北大学大学院生命科学研究科教授

委員	福田裕穂	東京大学大学院理学系研究科教授
委員	前田靖男	東北大学大学院生命科学研究科教授
委員	矢原徹一	九州大学理学部教授
委員	鷲谷いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授

要旨

動物科学研究連絡委員会および植物科学研究連絡委員会は、第18期において博物館・学芸員問題を専門に討議するワーキンググループを発足させ、博物館の高度化にまつわる諸問題と具体策を協議したので、ここに对外報告書としてまとめるものである。

博物館の現状の解析から、わが国の多くの博物館が教育と研究における専門性を欠き、新しい時代に求められる高度な社会教育に対しても、また学界が期待する専門性ある学術研究に対しても、現状の博物館が十分に応えていないことが明らかとなった。

そこで両委員会は、博物館を社会の期待に応える能力のある組織に改革することを目的に、博物館への教育と研究の専門性の付与、すなわち博物館高度化施策を提案する。具体的内容は以下のとおりである。

1)学芸員制度の整備： a)学芸員資格の高度化、b)学芸員雇用数の絶対的増加、c)雇用体制の改善が必要である。高度な学芸員資格としてシニアキュレーター制度の創設を図る。

2)博物館に対する科学研究費補助金の改革： 文部科学省科学研究費（科研費）の博物館学芸員への幅広い申請資格付与を図る。

3)博物館職員に対する再教育制度の確立： 博物館の学芸員と博物館行政に携わる行政官（経営サイド）を統合する形で、教育・研究内容の高度化と高度化を実現するための施策についての再教育制度の確立を図る。再教育は、大学・大学院と指導的位置にある博物館に横断的な専用カリキュラムを設けることを提案する。

これらの施策は自然史系・生物系博物館における緊急の課題として浮き彫りになっているが、その多くの部分は他の学問領域の博物館においても共通の課題として認められるものと考えられる。

これらの施策を通じて、博物館が、見せることを目的とした受動的サービス施設に止まることを避け、新しい市民社会の中心的機構として、教育と研究を積極的に担うことのできる専門性ある組織とすることが、わが国の社会と文化の発展にとって急務となっているといえよう。

目次

- 1 はじめに 博物館の高度化に向けて
- 2 博物館法の精神と博物館像
- 3 現実の博物館の問題点と対策
 - 3-1 学芸員の人材と雇用
 - 3-2 学芸員の処遇 - 特に研究環境について -
 - 3-3 高度化を目指した館長の在り方
- 4 解決策の提示 - 博物館への専門性付与 -
 - 4-1 学芸員資格制度の整備 - シニアキュレーター制度の創設 -
 - 4-2 学芸員雇用体制
 - 4-3 博物館に対する科学研究費補助金の改革
 - 4-4 博物館職員に対する専門性受容基盤再教育制度の確立
- 大学院博物館高度化機構設置の提案 -
- 5 おわりに